

1. 2 微生物部

令和6年度は、感染症発生動向調査事業(患者発生情報、病原体情報)、試験検査(感染症、食中毒、感染症発生動向調査に関する病原体検査等)を行った。

調査研究は、「原因不明の発熱、発疹に係る病原体検索」を行った。

試験検査業務における検体数及び項目数について、表1に示す。

1. 2. 1 感染症発生動向調査事業

(1) 患者発生情報

一類感染症から五類感染症までの全疾病について、発生状況に関する情報を迅速に収集・解析し、各関係機関及び県民に、鹿児島県感染症情報(週報、月報、年報)として提供することにより、感染症の予防及びまん延の防止に努めた。

(2) 病原体情報

県内の指定提出機関(31施設)から提供された検体について、対象疾患別に病原性細菌並びにウイルスの検索を行った(表2)。

1. 2. 2 試験検査

(1) 細菌検査

細菌検査の実施状況について、表3に示す。

1) 感染症に関する検査(鹿児島市を除く)

三類感染症関連の行政検査として、腸管出血性大腸菌感染症患者発生に伴う検査を行った。内訳は、O103:6事例24検体、O26:3事例15検体、O172:1事例5検体、O157:1事例3検体、O126:1事例3検体、O型不明:4事例10検体であった。

四類感染症関連の行政検査として、レジオネラ症患者発生2事例に伴う浴槽水8検体、喀痰1検体の検査を行った。

五類感染症関連の行政検査として、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症の菌株16検体の確認を行った。

その他の細菌検査は、水道水の従属栄養細菌8検体、医療機器の無菌試験2検体を行った。

2) 食中毒に関する検査(鹿児島市を除く)

食中毒疑い29事例の行政依頼があり、344検体の検査を行った(表3)。鹿児島県内の食中毒発生状況は表4のとおりである。

3) 感染症発生動向調査事業

病原体定点医療機関から提出された感染性胃腸炎患者便1検体、細菌性髄膜炎疑い患者髄液1検体について検査を実施した(表2)。

(2) ウイルス検査

1) 感染症に関する検査

保健所からの行政依頼実施状況について、表5に示す。

2) 食中毒に関する検査

令和6年度の鹿児島市を除く食中毒疑い27事例の行政依頼があり、431検体の検査を行った(表1)。

3) 感染症発生動向調査事業

病原体定点医療機関から提出された検体について検査を実施した(表2)。

4) 感染症流行予測調査事業

当該事業の感受性調査の一環として、新型コロナウイルス感染症中和抗体の保有状況を調査した(表6)。

5) HIV検査

鹿児島県内14保健所におけるHIV検査受検者のうち、迅速検査で判定保留となり、確認検査依頼があった4検体について検査を行い、すべて陽性であった(表1)。

(3) リケッチア検査

1) 依頼検査

つつが虫病予防対策事業による抗体検査220検体を実施した。ペア血清で検査を行った54人のうち、有意な抗体価上昇により陽性と判定したものは、つつが虫病13人、日本紅斑熱14人、陰性は27人であった。初回血清で陽性と判定したものは、つつが虫病1人であった。

(4) 寄生虫・衛生害虫等検査

1) クリプトスポリジウム等検査

「水道におけるクリプトスポリジウム等対策指針」及び「飲料水におけるクリプトスポリジウム等の検査結果のクロスチェック実施要領」(平成19年4月、厚生労働省)に基づき、加圧ろ過-アセトン溶解法にて、水道原水5検体(深井戸3検体・浅井戸1検体・湧水1検体)について検査を実施し、すべて陰性であった。

2) その他の検査

県内医療機関から13人のレプトスピラ症の検査依頼があり、国立感染症研究所へ行政検査を依頼した。その結果、4人がレプトスピラ陽性であった。

1. 2. 3 精度管理

(1) 細菌検査

(一財)食品薬品安全センター主催の外部精度管理(一般細菌数測定検査)他、大腸菌MLVA、コレラ菌培養同定、レジオネラ属菌培養同定、パルスネット(PFGE、MLVA)の外部精度管理に参加した。

(2) ウイルス検査

令和6年度厚生労働省外部精度管理事業(麻しん・風しんウイルスの遺伝子解析)に参加した。

表1 試験検査実施状況

	行政検査		一般依頼		調査研究		合計	
	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
細菌								
感染症に関する検査	95	95					95	95
食中毒に関する検査	344	4448					344	4448
感染症発生動向調査事業	1	1					1	1
ウイルス								
感染症に関する検査	105	445			52	751	157	1196
食中毒に関する検査	431	1442					431	1442
感染症発生動向調査事業	44	575					44	575
感染症流行予測調査事業	124	124					124	124
HIV検査	4	8					4	8
リケッチア								
つつが虫病等検査			220	660	220	440	440	1100
その他リケッチア検査			220	220			220	220
寄生虫・衛生害虫等	13	13					13	13
合計	1161	7151	440	880	272	1191	1873	9222

表2 感染症発生動向調査事業検査結果

検出病原体	令和6年										令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
	検査人数(陽性人数)													
	陽性検体の種類 ^{*1} と検出病原体数 ^{*2}													
インフルエンザ	1(1)	2(2)		1(1)	1(1)			4(4)	6(5)	3(2)	1(0)		19(16)	
インフルエンザウイルス AH1pdm09		咽1		咽1	咽1			咽4	咽5	咽2			咽14	
インフルエンザウイルスB ビクトリア系統		咽1											咽1	
インフルエンザ様 RSウイルス	咽1												咽1	
細菌性髄膜炎								1(1)					1(1)	
コクサッキーウイルスB2								髄1					髄1	
無菌性髄膜炎			1(0)				1(1)						2(1)	
ヘルペスウイルス7							髄1						髄1	
手足口病			9(7)	1(1)	1(0)		1(1)	2(2)		1(1)			15(12)	
コクサッキーウイルスA6			咽6										咽6	
コクサッキーウイルスA16							咽1	咽1					咽2	
エンテロウイルスA71			咽1	咽1									咽2	
インフルエンザウイルス AH1pdm09								咽1		咽1			咽2	
アデノウイルスC2			咽1										咽1	
SARS-CoV-2			咽1										咽1	
感染性胃腸炎											1(1)		1(1)	
サボウイルスGII.5											便1		便1	

*1 咽：咽頭ぬぐい液，髄：髄液

*2 病原体は同一検体より複数検出されることがあるため，必ずしも陽性人数とは一致しない。

(注) 突発性発疹，水痘，流行性耳下腺炎，急性出血性結膜炎，流行性角結膜炎，咽頭結膜熱は検体提出なし。

表3 細菌検査の実施状況(鹿児島市を除く)

区分	菌株	便	食品	拭き取り	水	その他	計
行政依頼		60					60
三類感染症関連					8	1	9
四類感染症関連	16						16
五類感染症関連					8	2	10
その他の細菌							
計	16	60			16	3	95
細菌性食中毒検査	1	230	23	87	1	2	344
感染症発生動向調査		1				1	2
合計							441

表4 食中毒発生状況（鹿児島市を除く）

発生日	発生地	摂食者数	患者数	死者数	原因食品	原因物質	原因施設
令6. 4. 7	さつま町	33	14	0	4月6日夜に提供された食事	カンピロバクター	飲食店
令6. 6. 20	中種子町	2	1	0	カツオ（推定）	アニサキス	家庭
令6. 8. 24	鹿屋市	102	22	0	8月24日に調理・提供された弁当	黄色ブドウ球菌	飲食店
令6.10.24	日置市	103	64	0	10月24日に調理・提供された食事（クリームシチュー）	ウエルシュ菌	旅館
令6.12.23	日置市	84	33	0	12月23日及び12月25日に調理、提供した食事	ノロウイルス	飲食店
令7. 1. 27	南さつま市	不明	23	0	1月26日に飲食店で調理・提供された食事	ノロウイルスGII.17	飲食店
令7. 2. 11	いちき串木野市	不明	4	0	2月11日に調理・提供された食事	不明	飲食店
令7. 2. 11	奄美市	19	14	0	2月10日に調理・提供した食事	ノロウイルスGII.17	製造所
令7. 2. 17	龍郷町	67	31	0	2月16日に調理・提供した弁当等	ノロウイルスGII.17	飲食店
令7. 2. 24	指宿市	37	26	0	2月23日夜に調理・提供した食事	ノロウイルスGII.17	旅館
令7. 2. 28	霧島市	不明	1	0	不明	アニサキス	不明
令7. 3. 9	霧島市	37	14	0	3月8日調理・提供した食事	ノロウイルスGII.17	飲食店
令7. 3. 14	不明	不明	1	0	不明	アニサキス	不明
令7. 3. 22	霧島市	60	32	0	3月22日に調理・提供した食事	ノロウイルスGII.17	旅館
合計14事例		544	280	0			
前年度合計6事例		170	68	0			

(注)「発生地」は、原則として「原因施設所在地」を掲載。ただし、原因施設が特定できない場合は、主な患者の発生場所を掲載。

(集計 生活衛生課)

表5 ウイルス行政依頼検査状況

疾患名	検査人数 (陽性人数)	検体数 (陽性検体数)	検出ウイルス (検体数)
重症熱性血小板減少症候群	27(7)	27(7)	SFTSウイルス(7)
急性脳炎	3(2)	12(2)	パラインフルエンザウイルス3型(1) コロナウイルスNL63(1)
麻しん	7(0)	20(0)	
風しん	5(0)	19(0)	
インフルエンザ	11(4)	11(4)	インフルエンザウイルスAH1pdm09(3) インフルエンザウイルスAサブタイプ不明(1)
デング熱	4(1)	12(2)	デングウイルスD1(2)
チクングニア熱	2(0)	7(0)	
ジカ熱	2(0)	7(0)	
SARS-CoV-2 (ゲノム解析)	8	8	KP.3(7), 解析不能(1)

(注) 病原体は同一検体より複数検出されることがあるため、必ずしも陽性検体数とは一致しない。

表6 新型コロナウイルス感染症中和抗体保有状況

年齢層 (歳)	0-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60≦	年齢不明	合計
検査数 (人)	0	0	0	0	6	13	32	36	26	11	124
抗体保有率 (%)	0	0	0	0	100.0	100.0	84.4	83.3	91.7	90.9	87.1